

2016年9月28日

「中央アジア＋日本」対話

第9回東京対話

我が国の対中央アジア外交

外務省中央アジア担当特別代表(大使)

相木 俊宏

中央アジア諸国概観



ベルディムハメドフ大統領



ミルジヨーエフ大統領代行



ナザルバエフ大統領



ラフモン大統領



アタムバエフ大統領



	人口	面積 (日本比)	GDP (2014年)	1人当りGDP (2014年)	代表的な産業
カザフスタン	1,660万人	7.2倍	2,123億ドル	12,184ドル	鉱業(石油、ウラン等)、農業、金属加工
キルギス	560万人	0.5倍	74億ドル	1,299ドル	農業・牧畜業、鉱業(金)
タジキスタン	840万人	0.4倍	92億ドル	1,113ドル	アルミニウム生産、水力発電、農業
トルクメニスタン	530万人	1.3倍	479億ドル	8,271ドル	鉱業(ガス)、ガス加工、農業・牧畜業
ウズベキスタン	2,890万人	1.2倍	626億ドル	2,046ドル	繊維(綿)、農業・食品加工、鉱業(金、ガス)
日本	1億2,700万人	38万km²	4兆6,163億ドル	36,332ドル	

中央アジア諸国の加盟する地域機構・枠組

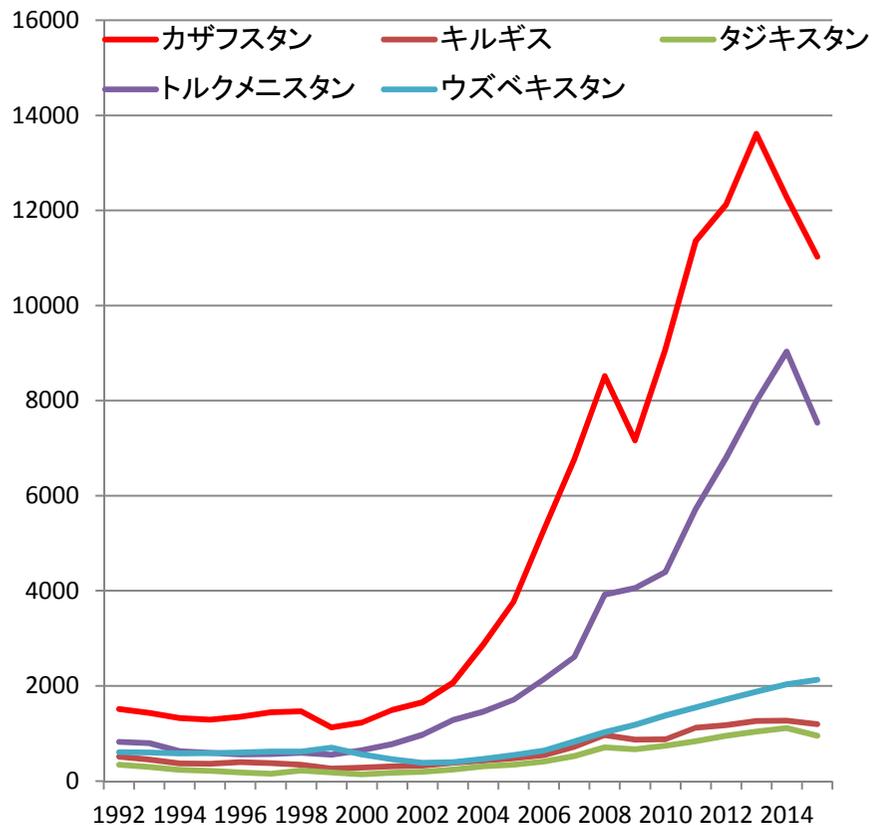
	カザフスタン	キルギス	タジキスタン	トルクメニスタン	ウズベキスタン	アルメニア	アゼルバイジャン	ジョージア	ベラルーシ	モルドバ	ロシア	ウクライナ	アフガニスタン	インド	イラン	パキスタン	トルコ	中国	モンゴル
独立国家共同体 (CIS)(1991年設立)	○	○	○	準	○	○	○	×	○	○	○	×							
アジア信頼醸成措置会議 (CICA)(1992年設立)	○	○	○		○		○				○	オ	○	○	○	○	○	○	○
中央アジア地域経済協力 (CAREC)(1997年設立)	○	○	○	○	○		○						○			○		○	○
上海協力機構 (SCO)(2001年設立)	○	○	○		○	対	対		オ		○		オ	オ	オ	オ	対	○	オ
集団安全保障条約機構 (CSTO)(2003年設立)	○	○	○		×	○			○		○		オ						
ユーラシア経済同盟 (EAEU)(2015年設立)	○	○				○			○		○								

(×=脱退、準=準加盟国、オ=オブザーバー国、対=対話パートナー)

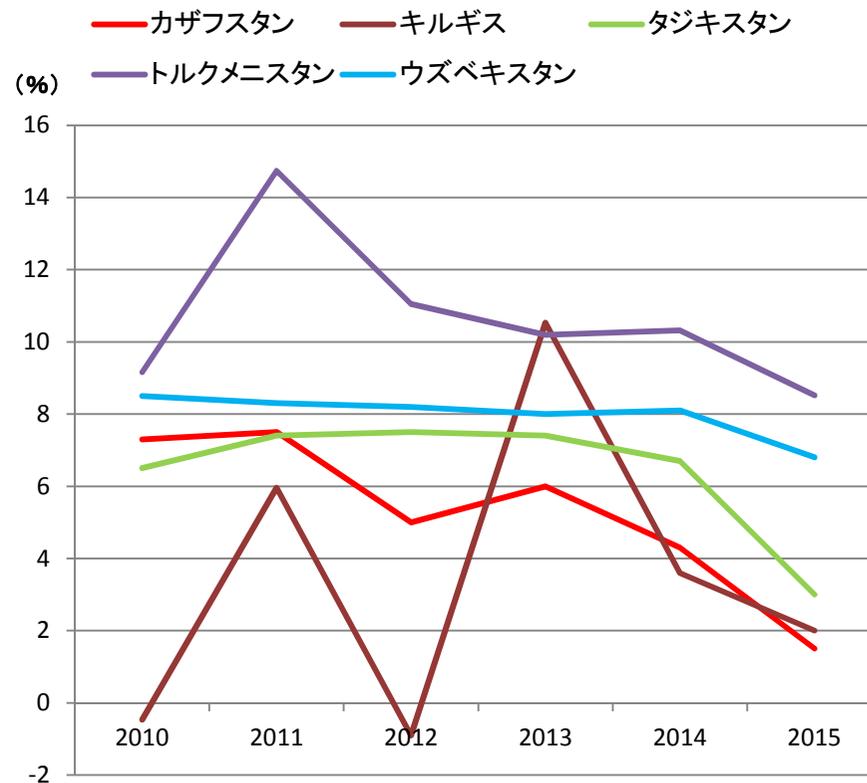
※1 2012年,活動参加停止を決定。

中央アジア5か国の経済情勢

(米ドル)



中央アジア5か国 一人あたりGDP (単位:米ドル)



中央アジア5か国の経済成長率

(出典:世銀統計)
 ※2015年はIMFによる推定値

我が国の対中央アジア外交

【基本方針】

「中央アジアの開かれ，安定し，自立的な発展を支え，地域・国際の平和と安定に寄与する」

【対中央アジア外交の3本柱】(2015年10月，安倍総理の政策スピーチにおいて表明)

1. 二国間関係の抜本的強化

ア 各国の開発課題に応える協力: 資源輸出依存脱却，産業多角化への協力，インフラ整備

イ 「人間」を重視した協力: 人材育成(日本型工学教育を活用した高度産業人材育成)，医療

ウ 人的・文化的交流の深化

・映像コンテンツ，日本語教育，スポーツ分野での包括的な交流促進(文化ミッションの派遣，日本語学習者招聘，武道団派遣)

・文化財・文化遺産協力 (国際シンポジウムの開催)，青年の訪日招聘 (「MIRAI」プログラム)

2. 地域共通の課題への関与 ～地域協力を奨励

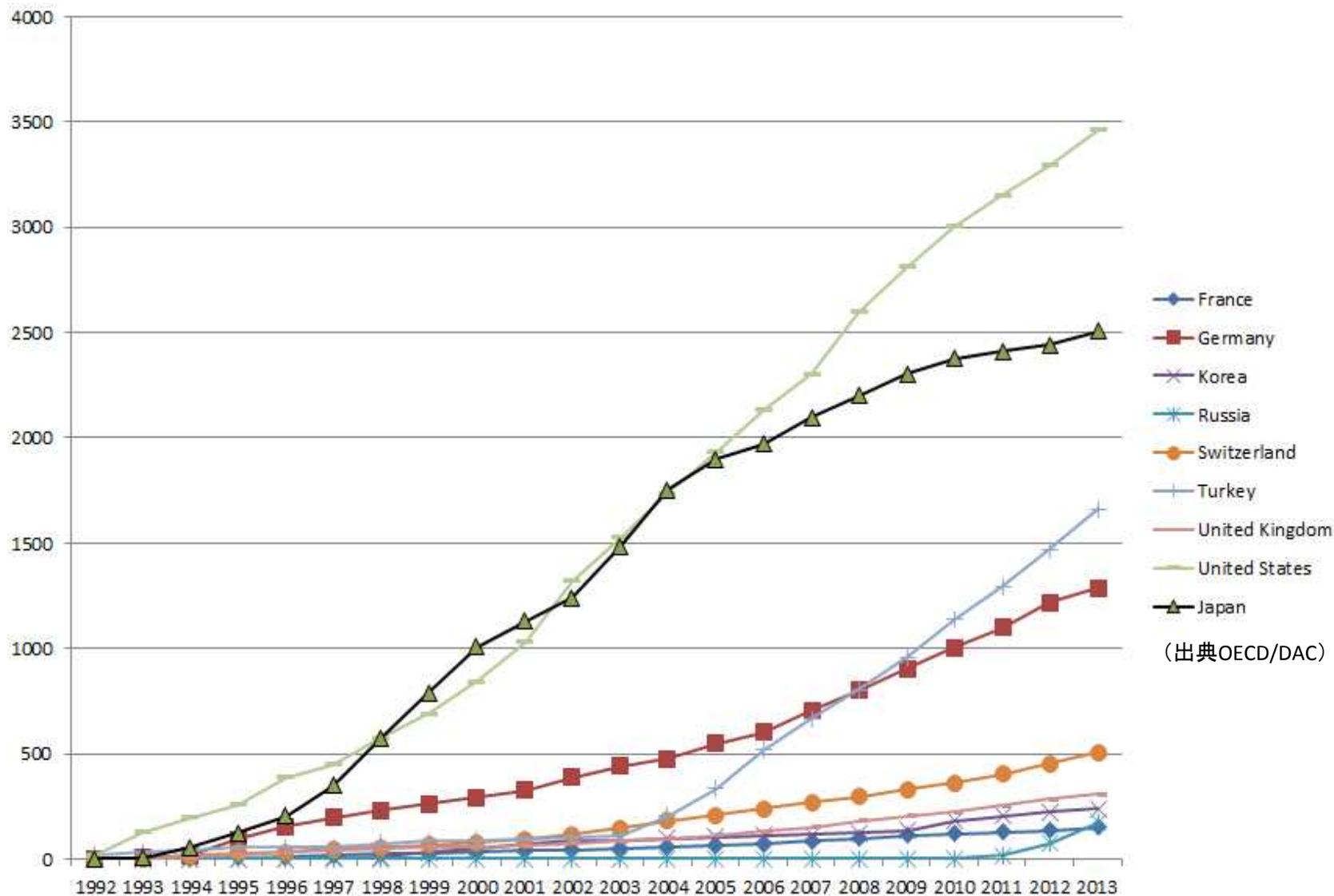
・「中央アジア+日本」対話 (次の主要テーマは「運輸・物流」)，麻薬対策・国境管理(麻薬対策官研修，マネロン／テロ資金供与情報交換枠組等)

3. グローバルな舞台での協力

・国連安保理改革，軍縮・不拡散

主要国の中央アジア向けODA累積額

(百万米ドル)



(出典OECD/DAC)

安倍総理による中央アジア訪問(2015年10月): 日程

トルクメニスタン(10月22-24日)

- 首脳会談・署名式・共同記者発表
- ビジネスフォーラム
- 晩餐会

タジキスタン(10月24日)

- 首脳会談・署名式・共同記者発表
- 秋野豊氏ほか国連職員顕彰プレート献花
- 晩餐会

ウズベキスタン(10月24-26日)

- 首脳会談・署名式・共同記者発表
- ビジネスフォーラム
- 日本人抑留者墓地献花
- ナボイ劇場改修記念コンサート
- 晩餐会

キルギス(10月26日)

- 首脳会談・署名式・共同記者発表
- 晩餐会

カザフスタン(10月26-28日)

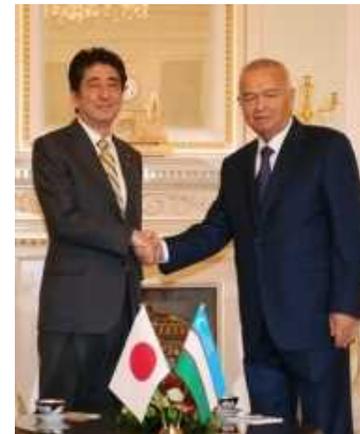
- 首脳会談・署名式・共同記者発表
- 午餐会
- ビジネスフォーラム
- 政策スピーチ



日トルクメニスタン首脳会談



日タジキスタン首脳会談



日ウズベキスタン首脳会談



日キルギス首脳会談



日カザフスタン首脳会談

安倍総理による中央アジア訪問(2015年10月)

【主要な成果】

- 日本と中央アジアの絆を確認。
- 5か国全てから日本の対中央アジア外交への歓迎が示された。
- 総理訪問を通じ、日本企業の中央アジアへのビジネス展開を後押しできた。
 - ⇒①今次訪問に民間企業等、合計50団体が同行。3か国でビジネス・フォーラムを開催。
 - ②5か国を通じ、官民併せて合計87件の文書に署名。
 - ③政策スピーチで安倍総理より「今後3兆円超のビジネスチャンス」を生み出す旨発表。



ナザルバエフ大学での政策スピーチ

「中央アジア+日本」対話



【意義】
 ◆ 中央アジアの安定と発展には地域共通課題の解決に向けた地域協力が不可欠との観点から、日本がその「触媒」となるべく2004年に立ち上げたもの。
 ◆ 設立10周年を迎え、近年は対話に留まらない、より**実践的な協力**を目指している。

2015年10月
 安倍総理の
 中央アジア訪問

外相会合



高級実務者会合(SOM)



東京対話 (公開シンポジウム)



その他

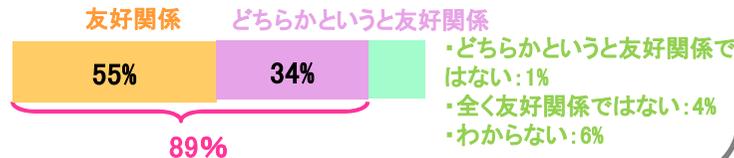


高まる日本への期待～中央アジアにおける対日世論調査

日本との関係

日本との関係に関し肯定的イメージが広がっている
(日本との関係が良好とした回答がおよそ9割)

Q あなたの国と日本は、現在どのような関係にあると思いますか。



・調査機関: Business Information, Social and Marketing Research Center(BISAM), Central Asia社 (外務省委託)

・調査対象: カザフスタン, キルギス, タジキスタン, ウズベキスタンの各国18歳以上の300名(計1,200名)

・調査方法: 主に電話調査(キルギスタン及びタジキスタンの農村地域で一部訪問調査を実施)

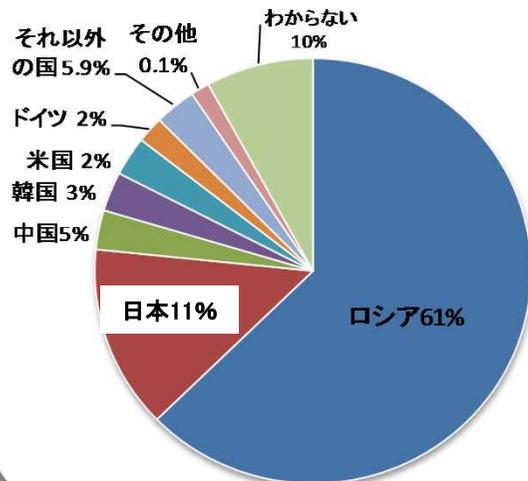
・調査時期: 2015年12月～2016年1月

信頼できる国

日本はロシアに次いで2位。
アジアトップの信頼を獲得。

Q 最も信頼できる国は次の国のうちどれですか。

G20(日, 米, 英, 仏, 独, 伊, 加, 露, 中, インド, ブラジル, メキシコ, 南アフリカ, 豪州, 韓, インドネシア, サウジアラビア, トルコ, アルゼンチン)より1つ選択

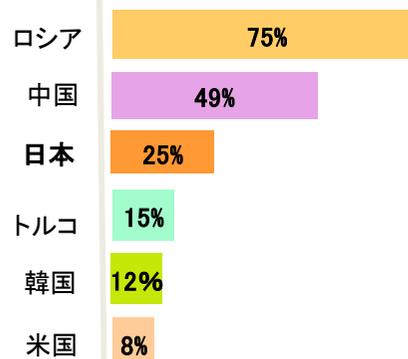


重要なパートナー

日本はロシア, 中国に次ぐ重要パートナー。

Q あなたの国にとって、現在重要なパートナーは、次の国のうちどれですか。

((日, 米, 英, 仏, 独, 伊, 加, 露, 中, インド, ブラジル, メキシコ, 南アフリカ, 豪州, 韓, インドネシア, サウジアラビア, トルコ, アルゼンチン, その他, わからない(複数選択))



戦後70年の日本の歩み

75%が評価すると回答

Q 戦後70年の日本の平和国家としての歩みについてどう思いますか。



安倍総理訪問後の両国関係

7割以上が今後両国関係は更に発展すると回答

Q 安倍総理大臣の2015年10月の中央アジア5ヶ国歴訪を契機として今後両国関係は更に発展すると思いますか。

